
かきあつめた ことば

篠宮 楓

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

かきあつめた ことば

【Nコード】

N2629BA

【作者名】

篠宮 楓

【あらすじ】

思いついた言葉を思いつくままに。

大丈夫<恋愛>

君の声は 毎日届くけど
君の姿は 目に映らない

手を伸ばしても 触れられない
その距離を 実感する
忘れていたい 事実

君は 遠い空の下
僕のいない 日々を送ってる

大人になれば 思うように生きられると信じてた
君と一緒に 誰にも邪魔されず
二人の日々が待っていると

自由には 責任が纏わり付き
時間が足元を掬う
うまくいくはずだった
思い描いていた 未来は
数年で崩れ去った

君の声は 毎日届くけど
君の姿は 目に映らない

手を伸ばしても 触れられない
その距離を 実感する
忘れていたい 事実

君は 遠い空の下
僕のいない 日々を送ってる

君が繰り返す ”大丈夫”を
僕はいつまで聞いていればいいんだろう
自分に言い聞かせるように
君が 君の為に 重ねる言葉

”大丈夫”

簡単で 重い

単純で 複雑

僕は 大丈夫じゃないから
絶対その言葉は口にしない

それでも君に 伝えたい言葉があるよ

君に
会いたい

大丈夫く恋愛く(後書き)

思いついて書いてみたのですよ。うん。幼馴染とくを書きながら、
これ書くとかね。お暇つぶしに……

記憶<失恋>

忘れたい記憶は いつまでたっても消えないのに
忘れたくない笑顔は いつのまにか薄れていく

愛してる

と

告げたその声は

いま

誰の名前を呼んでいるの？

そつと頬に這わせた指先で

いま

誰に 触れているの？

会えなくなつて 悲しくて

機械越しの声だけが 縋れるもので

逃げたのは 私

終わりを待つのが怖くて

終わらせたのは 私

終わっていなかったのに 終わらせたくないと言ってくれたのに

私は あなたを 断ち切った

離れていくのを 見たくなかった

厭わしく思われるのを 待ちたくなかった

不安は 希望も記憶もすべてを飲み込み

ただ 一つ

苦しさからの逃げ道を 私に示してくれた。

逃げたら 何も 終われないことに 気付けずに。

愛してる

と

告げたその声は

いま

誰の名前を呼んでいるの？

そつと頬に這わせた指先で

いま

誰に 触れているの？

私は
いま。

ひらら。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2629ba/>

かきあつめた ことば

2012年1月6日22時45分発行